

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	アセスメント様式、ケアプラン様式についての変更を行い、アセスメントを共有することができている。アセスメントを深め、そこで導き出したものをケアプランに生かすことが課題である。	アセスメントを深め、入居者の今置かれている状況、気持ちなどを大切にされたケアを行う。	ie	12ヶ月
2	26	入居者の人生歴に着目したケアが全員で行えていない。	入居者の人生歴に思いを馳せ、その人らしさを大切にされたケアの実践を行う。	入居者個人の人生歴、その人らしさを生かしたケアプランの作成を行い、全員でそれを実践する。	12ヶ月
3	18 37	職員の仕事に対する姿勢やケアのスキルに大きなバラつきがある。どの職員も一定以上のスキルを身につける必要がある。	すべての職員がグループホームの持つ役割をしっかり把握し、認知症についての知識やケアのスキルを向上させる。	毎月の職場会議にて学習の時間を取り入れる。また、外部の講師による研修の機会も設ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。